
THROTTLE CONTROLLER

PERFORMANCE & ECO.

INSTALLATION MANUAL

BL⚡TZ

■製品についてのお問い合わせ

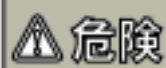
連絡先	株式会社 ブリッツ サポートセンター
所在地	〒446-0053 愛知県安城市高棚町大道40-1
TEL	0566-79-2200
FAX	0566-79-2070
URL	http://www.blitz.co.jp

■発売元

発売元	株式会社 ブリッツ
所在地	〒446-0053 愛知県安城市高棚町大道40-1
取扱説明書番号	1466001
初版作製年月日	2008年3月11日

— 安全上のご注意 —

製品を安全にご使用いただくために『安全上のご注意』を良くお読みになってください。
表示項目の説明（シグナルワードとその意味！）



危険

この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、本人または第三者が死亡または重傷を負う可能性が想定される危険の状況を示します。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、本人または第三者が重傷または中傷を負う可能性が想定される危険の状況を示します。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、人が軽傷または中程度の傷害を負う可能性が想定される危険な状況および物質損害の発生のみが想定される状況を示します。

□必ずお読みになり、よくご理解ください。

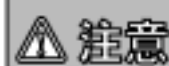
- ・本製品は純正の電子制御スロットルの信号を制御し実際に運転者がアクセルを踏み込んだ以上にスロットルを開ける事で体感的なパワーやスタートダッシュの軽快感などが得られますが実際の最大出力が向上するものではありません。また、体感的な部分には個人差がありますことをご了承ください。
- ・この製品についての説明には、製品を使用する際と、自動車に装着する際の注意事項が詳しく記載してあります。良くお読みになって、正しくお使いください。
- ・装着車両に、この製品システム以外の製品装着や改造を行った場合に発生する不具合に関して、弊社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ・お客様ご本人または第三者の方が、この製品および付属品の誤った使用や、その使用中に生じた故障その他の不具合によって受けられた障害については、弊社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ・この製品および付属品は、改良のため予告なく変更する事があります。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、本人または第三者が重傷または中傷を負う可能性が想定される危険の状況を示します。

- ・換気の良い場所で取り付け作業を行ってください。
換気の悪い場所で作業を行うと、爆発・火災の原因となります。
- ・本製品および配線類・付属品はしっかりと固定し、運転の妨げになる場所・不安定な場所に取り付け
ないでください。
運転に支障をきたし、事故の原因になります。
- ・本製品は、車両電源がDC12V車で車体（ボディ）アースの車両専用です。
DC24V又は12V・24V兼用車には使用しないでください。火災の原因となります。
- ・バッテリーのマイナス端子をはずしてから、取り付け作業を行ってください。
ショートなどによる火災、電装部品の破損、焼損の原因となります。
- ・コネクタを外す場合、ハーネスを引っ張らず、必ずコネクタを持って取り外してください。
ショートなどによる火災、電装部品の破損、焼損の原因となります。また、製品の故障の原因となります。
- ・本製品に異音・異臭などの異常が生じた場合には、製品の使用をすみやかに中止し、販売店または弊社
までお問い合わせください。
そのまま使用すると、感電や火災、電装部品の破損の原因となります。
- ・運転者は走行中に本製品の操作を行わないでください。
事故の原因となる恐れがあり大変危険です。
- ・本製品の取り付け時に、エンジンルーム内の電気配線や配管類を傷つけないよう注意してください。
ショートなどによる火災、電装部品・エンジン・車両の破損の原因となります。
使用しない配線などは、絶縁テープを巻くなどして必ず絶縁対策を行ってください。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、人が軽傷または中程度の傷害を負う可能性が想定される危険な状況および物質損害の発生のみが想定される状況を示します。

・液晶表示画面について

偏光サングラスを通して液晶表示画面を見ると、見る角度によっては画面が暗くなったり、歪んで見える
事がありますのでご注意ください。

**注意**

この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、人が軽傷または中程度の傷害を負う可能性が想定される危険な状況および物質損害の発生のみが想定される状況を示します。

- ・本製品の取り付けは、必ず専門業者に依頼してください。
取り付けには専門の知識と技術が必要です。間違った装着や使用方法により車輻装備品及びエンジン破損につながる恐れがあります。
- ・本製品は精密部品です。装着前に落下させたり装着時に無理な力を加えないでください。
作動不良を起こし、車輻を破損する恐れがあります。
- ・液晶表示本体を長時間高温になる場所に放置しないでください。
60℃以上の高温に長時間さらしたり、急激な温度差の環境でのご使用では液晶の素子が破壊されに黒くなる事があります。(冷蔵庫などで冷却すると復帰する場合があります)
- ・本製品の加工・分解・改造などは一切行わないでください。
事故・火災・感電・電装部品の破損、焼損の原因となります。
加工・分解・改造等の形跡が見られる場合、クレーム・修理の対象外にさせていただきます。
- ・高温になる場所や、水が直接かかる場所には、取り付けをしないでください。
感電、火災、電装部品の破損、焼損の原因となります。
- ・エンジンルーム内の温度が下がってから、作業をはじめてください。
エンジン本体、ラジエター、排気関係の部品は高温になり、火傷の恐れがあります。
- ・定期的に点検を実施し、十分に注意してご使用ください。
この製品は耐久性を考慮して、厳選された材料を使用し、厳重な社内品質管理のもとに製造されていますが、車両の使用条件や環境などにより、耐久性が落ちる事があります。
- ・取り付け作業のために一時的に取り外す純正部品は、破損・紛失しないように大切に保管してください。
当社は取り付け作業による物的損害の責任を負うことはできませんので、慎重に作業を行ってください。
- ・ボルト・ナット類は、適切な工具で確実に締め付けてください。
必要以上に締め付けを行うと、ボルトのネジ部が破損します。
- ・本製品は純正車両を前提に企画されております。
純正以外のパーツを取り付けている場合は、本製品が正常に作動しなかったり、本製品および車両に不具合が出たりする可能性があります。

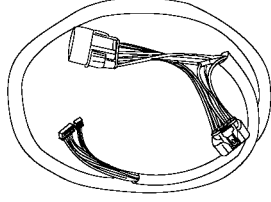
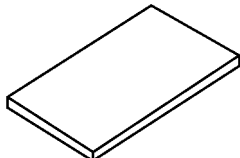
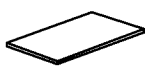
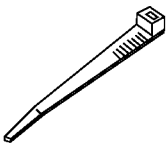
**警告**

この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、本人または第三者が重傷または中傷を負う可能性が想定される危険の状況を示します。

- ・運転者は走行中に本製品を操作しないでください。
運転の妨げになり事故の原因になるなど大変危険です。
- ・コントローラーや本体の装着場所は運転の妨げにならない場所へ固定してください。
アクセルセンサー付近の配線処理などは特に注意しないと突然のエンジン不調やアクセル操作の邪魔になるなど危険です。
- ・本製品は純正電子スロットルの制御を目的に製作されていますので配線の接続方法ならびに使用方法を間違えると車両側の不調・破損・事故など致命的な問題が発生する恐れがあります。
接続取り付けに関しては必ず専門の業者にて行うようお願いいたします。ご自身で取り付けを行う場合は必ず専門知識並びに車両知識のある方のもとで行い、慎重に作業をしてください。
- ・走行中に車輻及び製品より異音・振動・異臭等の異常が発生した場合は、ただちに使用を中止して専門業者にて点検・整備を行ってください。
修理等に関してはお客様ご自身で対処すると、怪我などの恐れがあり危険です。必ずプロの知識を持った専門業者へ依頼をしてください。
- ・本製品の装着により製品、及び車輻本来の性能が損なわれている場合には、速やかに点検・整備を専門業者に依頼してください。
そのままの状態で行くと、予期せぬトラブルを誘発するばかりではなく、事故を招く可能性があります。
- ・本製品の分解や改造は一切行わないでください。
車両破損・事故につながるだけでなく生命の危機に陥る恐れもあり危険です。また、そのような場合でも弊社では一切の責任を負うことができませんのでご了承ください。

パーツリスト

(製品装着前に必ずご確認ください。)

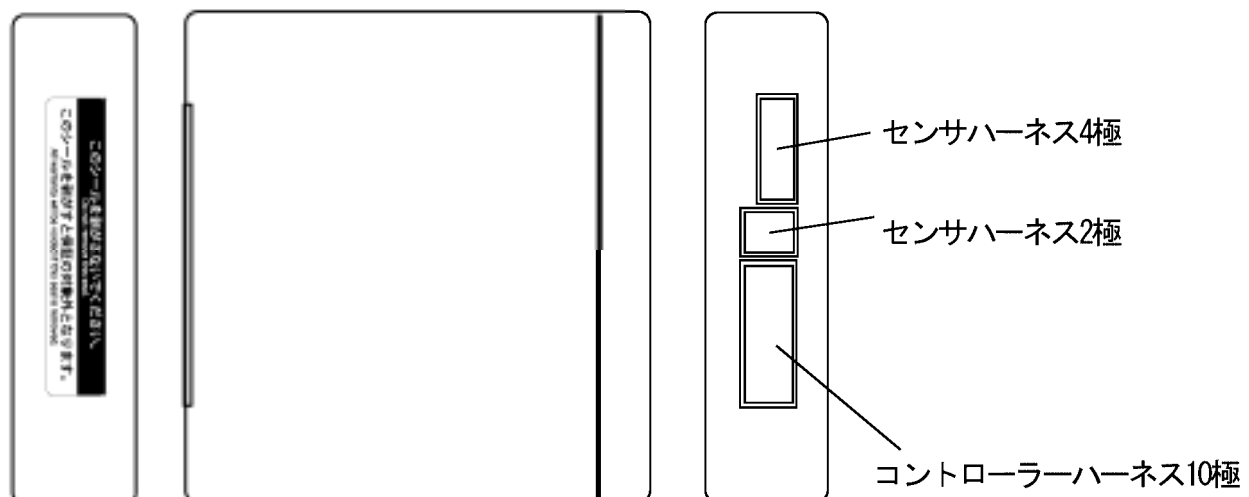
							
コントローラー	1	本体ユニット	1	センサハーネス	1	スプライス	1
							
両面テープ 大	1	両面テープ 小	1	タイラップ	4	取扱説明書・保証書	1

－ 各部の名称と機能 －

コントローラー：



本体ユニット：



－ 取り付け手順と方法 －

※本製品はDC 12V車両専用です。DC 24V車や12V仕様車以外の車両には取り付けを行わないでください。

火災や車両破損の原因となり大変危険です。

■取り付け上のご注意

※電子スロットル制御に関わる部分です。接続位置、接触には慎重に作業をおこなってください。

※接触不良等がある場合、正常にエンジンが吹けあがらない、エンジンチェック点灯等の状況が出てしまいます。この場合専用の機器しかエンジンチェックの点灯は消せないことがあります。十分注意して作業をおこなってください。

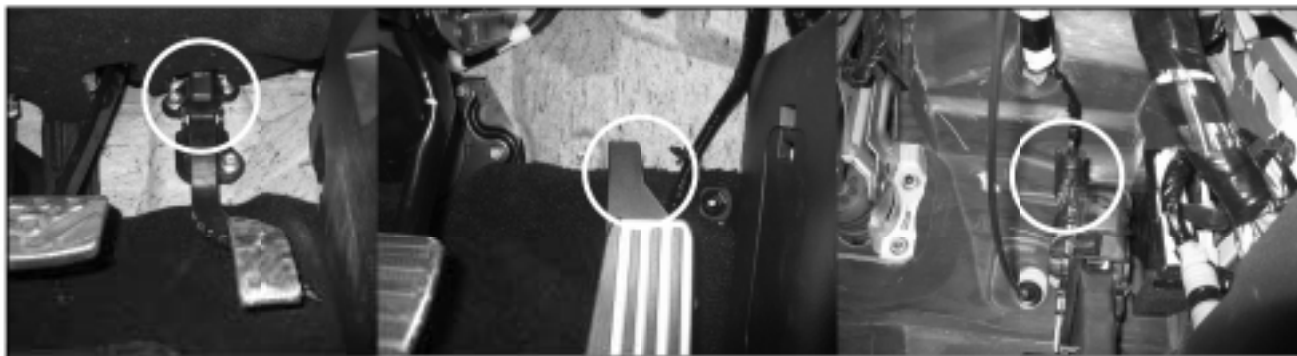


この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、人が軽傷または中程度の傷害を負う可能性が想定される危険な状況および物質損害の発生のみが想定される状況を示します。

- ・取り付け作業は基本的にバッテリーを外さずに行ってください。バッテリーを外した場合にアイドリング学習などが必要になる場合があります。
 - ・取り付け作業の際は必ずキースイッチを抜いて数分間は作業を行わないでください。中には5分以上電源がoffになら車両もあります。また、スマートエントリーシステムなどの場合はキーを認識しない場所に離して作業してください。車両側がキーの存在を認識して自動的に電源が入り、そのまま作業をしてセンサーコネクタを抜くとダイアグにエラーが入りエンジンがフューエルセーフモードに入ってしまう恐れがあります。
- ※車両によっては専用の故障診断機を使用しなければエラーコードが解除されない場合がありますので十分注意してください。
- ・本作業は精密電子部品である電子制御スロットルの制御にかかわる部分です。接続位置や接触、逆挿し、接触不良等には十分注意し慎重に行ってください。
 - ・接触不良や間違った接続をした場合、正常にエンジンが吹け上がらない、エンジンチェックランプの点灯などの症状が発生します。この場合も前述同様専用の故障診断機を使用しなければ消灯させることさえできない場合がありますので十分注意しよく理解した上で作業を行ってください。

(1) 運転席足元アクセルポジションセンサーの位置を確認します。

アクセルポジションセンサーは通常アクセルペダルの根元付近にあります。(一部車除く)
カバーの裏などで隠れていて直接目視できない場合がありますので注意して探してください。



上図白丸部がセンサーです。同梱のハーネスに付いているコネクタの形状と見比べて違う場合は装着できません。形状が異なっているにも関わらず無理に装着しないでください。



【注意】品番14671：TRC07C-BF2に適合する車両はエンジンルーム内にアクセルポジションセンサーがあります。

左図のようにマスターバック付近に固定されています。
室内よりエンジンルームセンサーまではワイヤーでできています。この部分にBF2センサーハーネスを接続しサービスホールを使用して室内へハーネスを引き込み本体ユニットへ接続してください。

(2) アクセルセンサーのコネクターを外します。

初めてコネクターを脱着する場合非常に固く外れない場合があります。ドライヤーなどで適度に温めやわらかくしてから外してください。工具などで無理に外そうとすると破損する恐れがありますのでお止めください。

(3) 専用センサコネクターを取り付けます。

BA1タイプのコネクター以外は次のように行ってください。

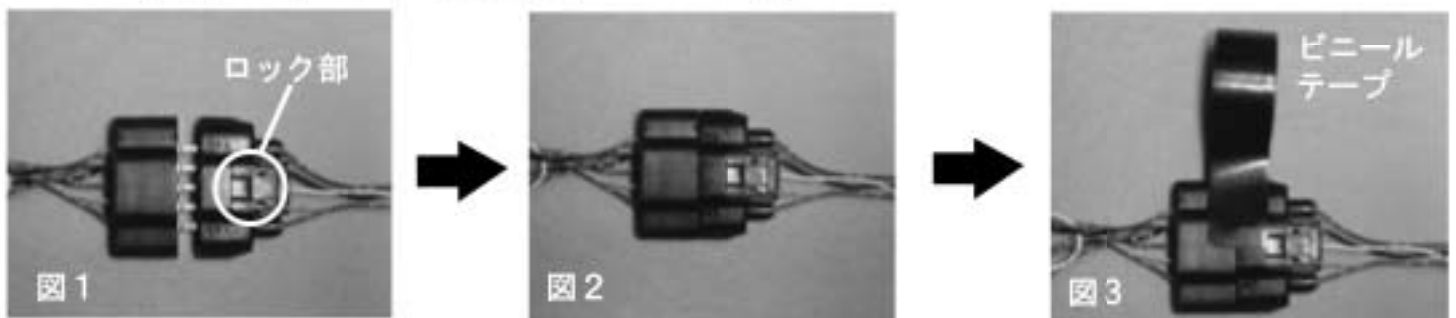
センサー側、車両側、それぞれコネクターを装着してください。

※ゴム製のコネクターは表裏の違いに注意してください。(図1、図2参照)

赤いコーションステッカーの貼ってある面と車両側コネクターのロック部分(ツメ)を合わせて装着してください。

※ゴム製のコネクターにはロックがありません。必ず図3のように絶縁性のビニールテープ等でテーピングして固定してください。

※コネクターの表裏を間違えて装着するとセンサー破損や本体ユニット破損、エンジンチェックランプ点灯など様々な不具合が起こる恐れがあります。必ずコーションステッカーの面に注意して間違いの無いように作業を行ってください。



BA1タイプのコネクターは次のように行ってください。

センサー側、車両側、それぞれコネクターを装着してください。

※車両側のコネクターの防水ゴムを必ず外してから装着してください。(図1、図2)

外さないまま装着した場合、接触不良もしくはエンジン警告灯が点灯します。

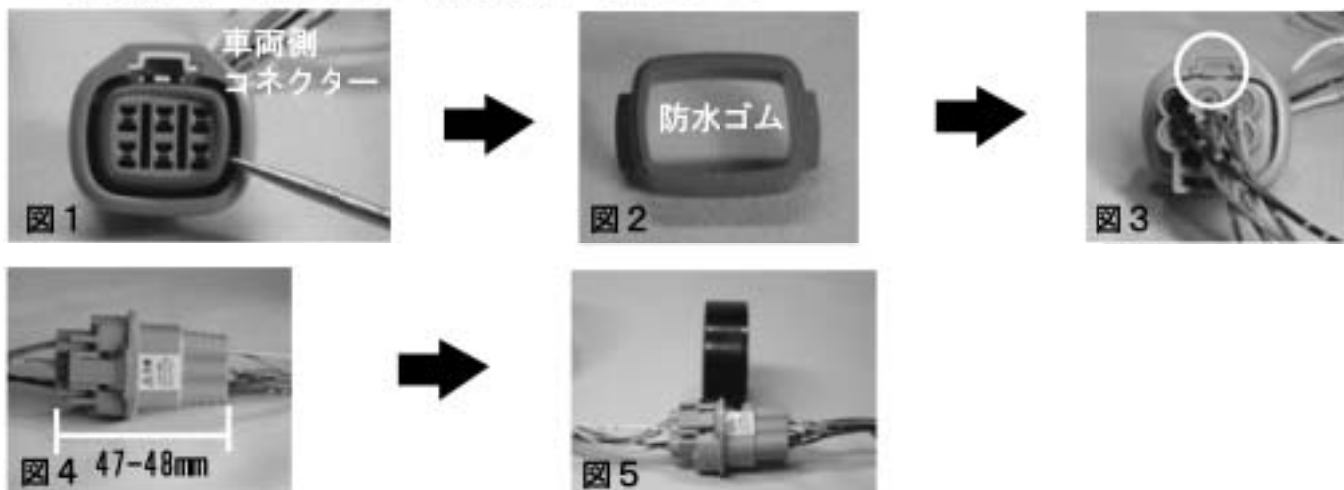
※BA1タイプのコネクターは特殊形状の為に表裏が判別しにくいです。その為コネクターに貼ってある赤いコーションシールを目安にして確実に装着してください。前述同様ロック部を合わせます。

※BA1コネクターは特殊形状の為にロック部分が完全に吻合しません。(図3)

※BA1コネクターを装着した場合の寸法はおおよそ47mm~48mmになります。(図4)

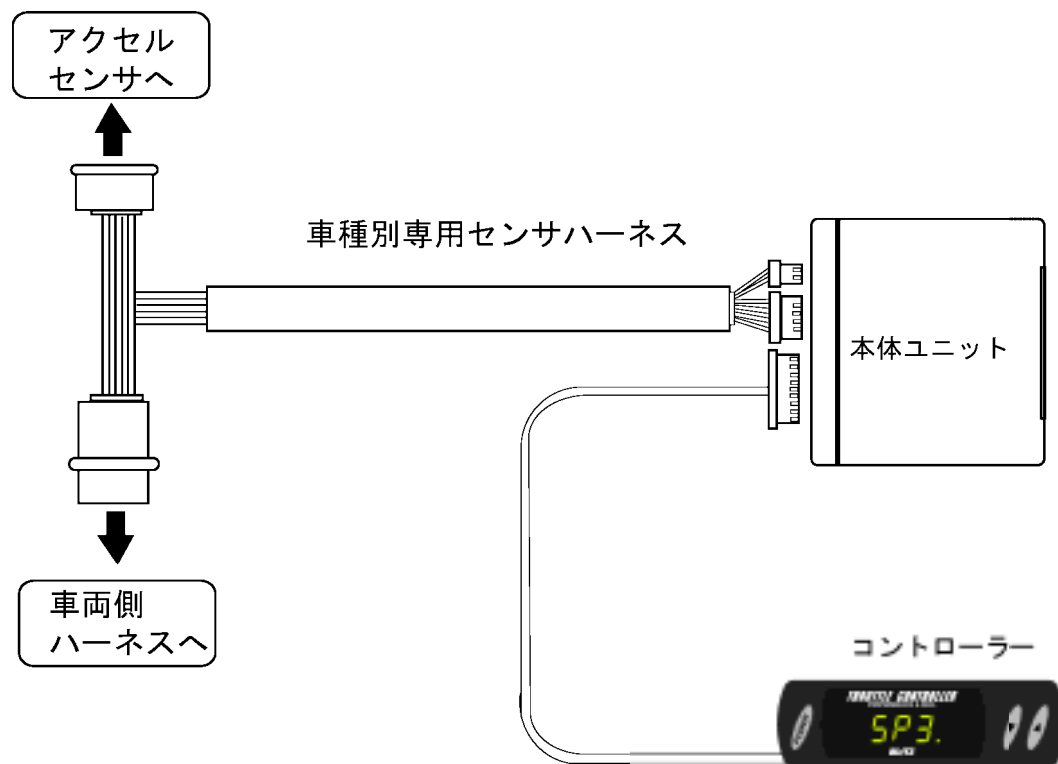
※装着後必ずビニールテープ等で固定してください。(図5)

※コネクターの表裏を間違えて装着するとセンサー破損や本体ユニット破損、エンジンチェックランプ点灯など様々な不具合が起こる恐れがあります。必ずコーションステッカーの面に注意して間違いの無いように作業を行ってください。



(4) 本体ユニット、コントローラーの装着

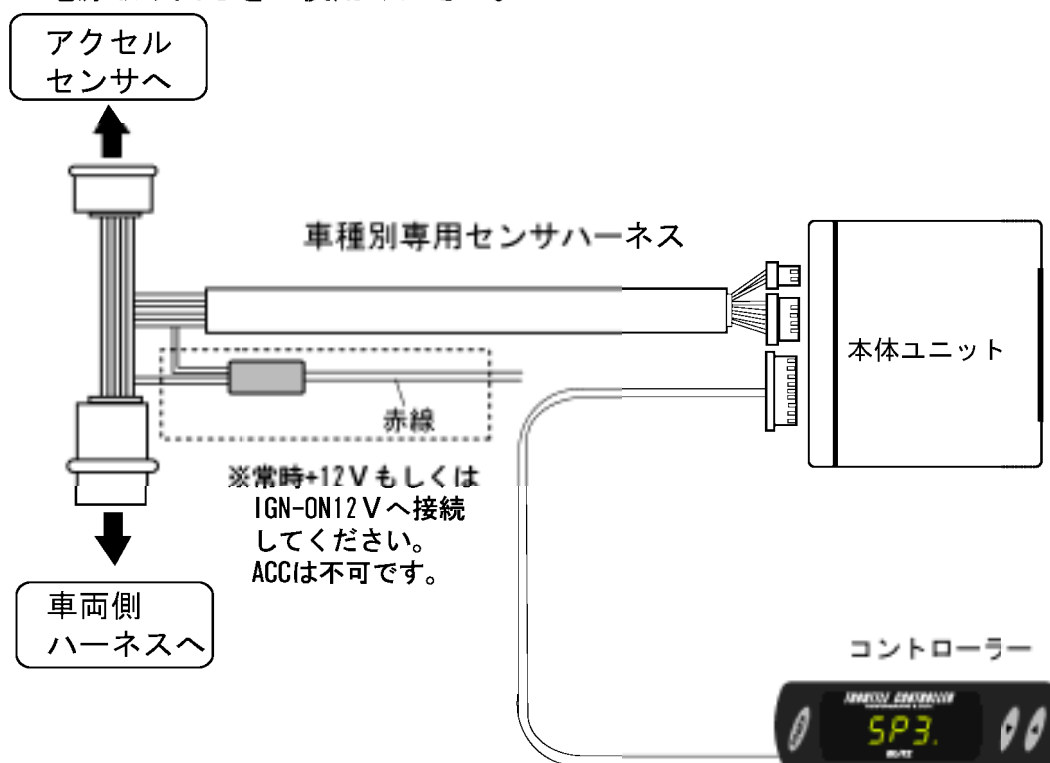
【接続図 1 : +12Vが必要でない場合】



- ・専用ハーネスの2極と4極コネクタを本体へ確実に差し込んでください。
 - ・コントローラーからの10極コネクタを本体に確実に差し込んでください。
 - ・運転の操作の妨げにならぬよう、本体を固定し配線をまとめてください。
本体は水、熱のかからない場所に固定してください。
- 注意！ 配線がアクセルペダルと接触すると大変危険です。細心の注意をはらってください。

【接続図 2 : +12Vが必要な場合】

TRC04C-BA1D、TRC06C-BJ1D、TRC08C-BG1Dなど末尾にDが付くアイテムの場合別途+12V電源を入力する必要があります。接続には付属のスプライスもしくは市販品のヒューズタイプの電源取り出しをご使用ください。



(5) 動作確認

作業終了後下記要領にて作動確認をおこなってください。

- ①イグニッションキーをONにしてください。
→スタートデモンストレーションが始まりピー音と共に画面に<OFF>と表示されます。
→車両によってはキースイッチを差し込んだ時に作動します。
- ②POWERスイッチを1回押してください。→表示が<ECO><SP1><SP2><SP3>のどれかの表示になります。
- ③UPスイッチ、DOWNスイッチにてお好みのモードに設定してください。
- ④イグニッションOFFにして、再度始動した場合画面は必ずOFFモードになります。これはフェーフティー機能です。知らない方が運転する場合は不意の自故を防ぐ意味でエンジンを切ると必ずノーマルになるように設定しています。
この場合、POWERスイッチでONにすると前回エンジンを切る直前のモードが表示されます。

(6) モード説明

ECO

純正に比べてアクセル開度が低い領域を重点にレスポンスをUPさせます。

発進特性が変わり、あまり踏み込むことなく車が動く為、街乗りを中心とした走行スタイルに適しています。

※ECOは4モードの中で最もエコノミーという意味あいです。



SP1

低速域より、全体的にアクセル開度・比率を純正よりひと回り大きくしています。

最も乗り易く、走り易いバランスに優れた仕様です。



SP2

SP1よりも低・中速域を約2倍の比率でコントロールします。

ワイヤー式では到底なし得ないレスポンスが体感できます。



SP3

最も過激でレスポンスが向上する仕様です。約半分のアクセル操作で全開領域に入ります。

加速感も4モード中、一番体感することができます。常に全開で走りたい方に向いています。



(7) 走行する前に再度お読みください。

- ※エンジンを切っても暫くはコントローラーの表示が消えない場合がありますが、センサーへ微量な電流が流れているためです。異常ではありません。万が一5分以上表示が消灯しない場合お手数ですが販売店もしくは弊社までご連絡ください。
- ※AT車の場合高速走行中にキックダウンしにくい場合はシフトポイントが変わる場合があります。これは、アクセルを踏んでない状況でも擬似的に踏んでいる状態を作っているためです。故障ではありませんのでご了承ください。
- ※ターボチャージャーなどの過給機付き車両の場合、ブースト特性が変わります。特にブーストアップやタービンの変更などを行っている場合はブーストの調整が必要になる場合があります。
- ※本製品はセーフティー機能の一環としてエンジンOFFで必ずノーマルモード（純正同様）になるように設計されています。例えばSP3で走行後エンジンOFFにし、次にエンジンをかけた時にはオープニング後にOFFと表示されます。運転者が再度POWERスイッチを押すと前回エンジンを切る直前のモードであるSP3が表示されます。但し、例外があります。SP3で走行中に運転者自身がPOWERスイッチでコントローラーをOFFにしてその後エンジンを切った場合です。次回エンジンをかけてと通常通りオープニング後にOFFが表示されます。しかし、そこからPOWERスイッチでONにしてもSP3にはならずEC0から始まります。これは自らOFFにしたことによるプログラム上のものです。故障ではありませんのでご安心ください。

(8) トラブルシューティング



フューエルセーフモードに入りエンジンが吹け上がらない状態になった場合は非常に危険です。速やかに車両を安全な場所に停車しエンジンを停止し5分ほど経ってから再度エンジンを始動させてください。

【アイドルリング不調】

- ※アクセルOFFにてコントローラー画面の作動確認用のインジケータが点灯していませんか？その場合スタートポイント（制御始動のタイミング）の調整が必要です。販売店もしくは弊社サポートセンターまでお問い合わせください。
- ※取り付け作業時にバッテリーを外した場合はアイドルリング学習が必要な場合があります。販売店もしくはカーディーラーへご相談願います。

【エンジンチェックランプ点灯、エンジン不調】

- ※コネクターの接触不良、配線間違い、コネクタ挿入方向の間違いなどご確認ください。
- ※+12VをACCから取っている、もしくは電圧降下で+12Vかかっていない。→取り出し方法と場所を変更してください。
- ※エンジンルームにもアクセルセンサーと同形状のコネクタがあります。エンジンルーム内のコネクタに接続した場合、正常に動作しません。必ず車内のアクセルセンサーのコネクタへ接続してください。（一部車両はエンジンルーム接続ですのでこの限りではありません。）

【作業中のミスなどでエンジンチェックランプ点灯】

- ※ディーラー等専用の故障診断機のある工場にてチェックランプ及びダイアグの履歴を消去してください。
- ※スズキ車の一部などはバッテリーを30秒ほど外す事でチェックランプを消す事ができる車両もあります。
- ※正常な状態で走行してみて数回エンジンの停止を行うと自動的に消灯する場合がありますが、ダイアグの履歴は残っています。

(9) バックキャンセルハーネスについて

後退時に制御をOFFにして車庫入れなどを容易にするハーネスです。オプションで別売です。コントローラーの10極コネクタと車両のバックスイッチ+12Vに接続します。

コードNo.14996：バックキャンセルハーネス ￥2,100（税込）

通常、車庫入れなどがし難い場合はコントローラーで制御をOFFにしてください。